※令和3年度以前入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　地理歴史　　科

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書	改訂版　詳説日本史B（山川出版社）						
副教材等	詳説　日本史図録　第9版（山川出版社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習として教科書を読んでおくこと。東アジアの中の日本を意識して学習を進めましょう。授業はプリントを用いながらパワーポイントを利用して進めます。重要事項はどんどんメモをしてください。ノートの作成状況は主体的な学習の観点から評価の対象となります。

2　学習の到達目標

東アジアの中の日本が歩んでいく歴史に興味関心を持ち、歴史的事象を結びつけて歴史的意義を見いだせる素養を持つこと。諸史料を読解し、適切に利用することが出来ること。現代社会における諸問題に対して歴史的観点から考察を行う事が出来ること。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	東アジアの中の日本を意識しながら我が国の歴史に対する関心を持つこと。歴史的課題を意識し、意欲的に追求する姿勢を持つことができること。	我が国の歴史的展開から課題を見いだし、我が国を取り巻く東アジアの国際的な環境と関連付けて多角的に考察できること。	諸史料を収集し、有用な情報を選択して用いることで、歴史的意義を追求する方法を身につけ、それらで得た考察を論理的に表現できるようになること。	我が国の歴史についての基本的な事柄を理解するために必要な基礎的な知識が習得できること。東アジアの中の日本という意識を持ち、各時代における事象を理解しようすることができること。
評価方法	・授業への取り組み ・リフレクションシート ・ノートの作成状況 ・観察など	・定期テスト ・リフレクションシート ・ワークシート ・観察など	・定期テスト ・課題プリント ・ワークシート ・観察など	・定期テスト ・ワークシート ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	近代	9. 近代国家の成立		○		○	a:近代国家となる諸条件を理解し、日本の近代化がもたらした変容を考察する姿勢を持つようになること。 b:国際的な広い視野を持ち、我が国の歴史的事象を追求するとともに近代化していく世界の情勢に関連付けて様々な観点から考察できる。 c:資料を有効に活用して、考察して得た内容を適切に表現することが出来る。 d:基本的事項を習得し、その知識を活用できる。	・定期テスト ・授業プリント ・提出課題 ・授業へ取り組み状況で判断
2	近代 現代	10.2つの大戦とアジア 11. 占領下の日本	○	○			a:日本の戦後復興から現代に至る道筋を学習し、現代社会の抱える諸問題へ興味関心を持つことが出来る。 b:国際社会の一員として発展してきた戦後史をとおして、国際情勢に関連付けながら諸問題の解決方法を考察できる。 c:資料を有効に活用して、考察して得た内容を適切に表現することが出来る。 d:基本的事項を習得し、その知識を活用できる。	
3	現代	12. 高度成長の時代 13. 激動する世界と日本	○		○	○	a:日本の戦後復興から現代に至る道筋を学習し、現代社会の抱える諸問題へ興味関心を持つことが出来る。 b:国際社会の一員として発展してきた戦後史をとおして、国際情勢に関連付けながら諸問題の解決方法を考察できる。 c:資料を有効に活用して、考察して得た内容を適切に表現することが出来る。 d:基本的事項を習得し、その知識を活用できる。	

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○をつけている。